

自己評価結果報告書

令和 8年 2月27日

大分県障害福祉課長 様

所在地 大分県大分市大津町2丁目1番41号
法人名 社会福祉法人 大分県社会福祉事業団
代表者 職・氏名 理事長 銅城 義則

1. 事業所の状況

事業所の名称	地域総合支援センター どんぐり	
事業の種別	保育所等訪問支援	
事業所番号	4451100020	
指定年月日	2021/4/1	
連絡先	担当者名	蔀 薫
	TEL	0978-33-1015
	E-mail	usa1000t@jasmine.ocn.ne.jp

2. 取組時期

①保護者による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
②職員による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
③訪問先施設による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月26日
④事業所全体による評価	令和 8年 2月 18日

3. 公表結果

公表日	令和 8年 2月 27日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL : http://www.oitaswo.jp
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域総合支援センター どんぐり		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		令和8年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2家族	(回答者数) 1家族
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月9日		令和8年1月26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数) 1施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談支援専門員との連携	相談支援専門員と連携し、訪問に同行していただく機会を設けることで、よりご利用児やご家族、訪問先とのニーズや現状の把握が相互にでき、多角的な視点を持って支援に臨むことができる。	限られた訪問支援のため、相談支援専門員と協働することで、困りが生じた時に相互に確認することができ、状況によっては関係者が集まり担当者会議をすぐに開催することで、早期解決につながる。
2	訪問先との信頼関係の構築	定期的な訪問の中で、学校でのご利用児の状況の聞き取りは丁寧に行うようにしている。支援の現状を把握し支持しながら、必要に応じた助言を行っている。	訪問先での困りや相談があれば、迅速に対応することで、訪問員とのつながりをさらに深めていただけたらと考える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な家族支援	限られた訪問支援の中で、定期的に家族の相談や困りに対応することは難しい現状がある。	支援の報告以外でも、長期休みや学期ごとに連絡を取ったりと、今後もまずは少しでも顔が見える関係となり得るように働きかけていきたい。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域総合支援センター どんぐり

公表日 令和8年 2月 27日

利用児童数 2名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	0	0	1		・現在必要な教具等の準備はありませんが、支援の中で必要な教材は整えていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	0	0	0	1		・振り返りを行う際に、訪問時のお子さま、そして訪問先での対応、ご様子を丁寧に説明して参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	0	0	0		
	15 必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 2月 27日

地域総合支援センター どんぐり

利用児童数 2名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	0	1	0	これからというところで、「どちらともいえない」にしています。	支援を開始して浅いため、今後の支援の中で課題や困りが軽減されるように努めていきたい。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	0	0		
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
					訪問時や担当者会議等で、現状や支援内容を共有することで、共通理解を図りながら、まずは訪問先とより顔の見える関係作りをしていきたいと考えています。訪問先また関係機関と連携し、一つのチームとなることで、課題や困りごとの解消や軽減を図れるように取り組んで参りたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域総合支援センター どんぐり		公表日		令和8年 2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	・現在特に教材を使っていないが、必要に応じて準備を行う予定。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	・適切である。		
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0		・ご利用児が増えた際は、広く沢山の職員に参画してもらいたい。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・昨年度より評価表の内容を受けて、支援の振り返り等職員が積極的に参画することで、より業務改善ができればと考えている。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・思いや意見を反映している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0	・昨年度より第三者の協力を得て、アンケートの総括結果に対してご意見をいただき、支援に反映している。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	・法人内外で研修をする機会もあるし、個人でも研修を受け研鑽している。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	・アセスメントをして、訪問計画書を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	・訪問先の職員、事業所とも意見交換し、共通理解を図っている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	・訪問先の職員、事業所とも意見交換し、共通理解を図っている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・共有し、支援している。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	・保護者また事業所から事前に情報を得て、訪問時に行動の観察やアセスメントを行い、支援の振り返りをしている。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	・アセスメントをして設定している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・支援している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	・相談支援専門員とも打ち合わせをしている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	・支援や気づきの共有、振り返りをしている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	・訪問先に敬意を払い、尊重している。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	・必要なことは適宜記録をしている。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	・必要な時期に見直し、アセスメントをすることを意向を確認している。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	・状況をよく理解している者が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	・相談支援専門員と連携しながら、関係機関と一緒に支援を行う体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	・訪問時に、ご利用児の情報や支援内容を確認し共有している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0	・外部研修を受けたり、専門家に質問して助言を受けることで研鑽し、質の向上を図っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0	・地域総合支援センターの職員が委員となり参加しており、復命で情報共有を図っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	・モニタリングや担当者会議とおして、情報の共有を行うことで課題の共通理解が深まっている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	・地域総合支援センター内でペアレントプログラムを行っている。	・今後は他事業所にも広く、ペアレントプログラムのお知らせを配布し周知したいと考えている。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	・契約時に時間をいただき、説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	・訪問先でも丁寧な支援目的の説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	・ご利用児の意向を確認すべく、面談や話をする機会を設けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	・説明し同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	0	2	・相談や悩みがあれば、適切に対応するように心がけている。	・定期的と言われると、頻度としては少ないことが課題である。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	・現在保護者同士の交流会やきょうだい児支援は行っていない。	・ニーズを洗い出し、今後どうアプローチしていくかを検討していきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	・ご利用児、保護者からの相談があれば、迅速に対応したいと考える。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	2	・支援の様子等は写真に撮っていない。撮影する際は、保護者の同意を得てからとしている。HPでの発信もしていない。	・今後も個人情報の取り扱いに十分に留意し、活動の様子等を状況に応じて発信することを検討していきたいと考えている。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・個人情報の取り扱いには十分留意している。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	・個々に応じて意思疎通の支援に配慮し、実施している。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	・必要に応じた助言や支援を行えるように努めている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	・行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	・共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・個人情報の取り扱いには十分に留意している。	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	・定期的な訪問の中で、信頼関係を築けるように配慮しながら支援や必要に応じて助言をしている。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	・法人内で各種訓練を受けている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	・行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	・ヒヤリハットを共有し、再発防止に努めている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	・地域総合支援センター内で研修を受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	・現在身体拘束等はない。今後身体拘束を行う場合は委員会の中で協議した上で決定し、ご本人とご家族に説明し了解を得た上で保育所等訪問支援計画に記載する。	